

# 令和5年度 西区生活支援体制整備事業活動報告書



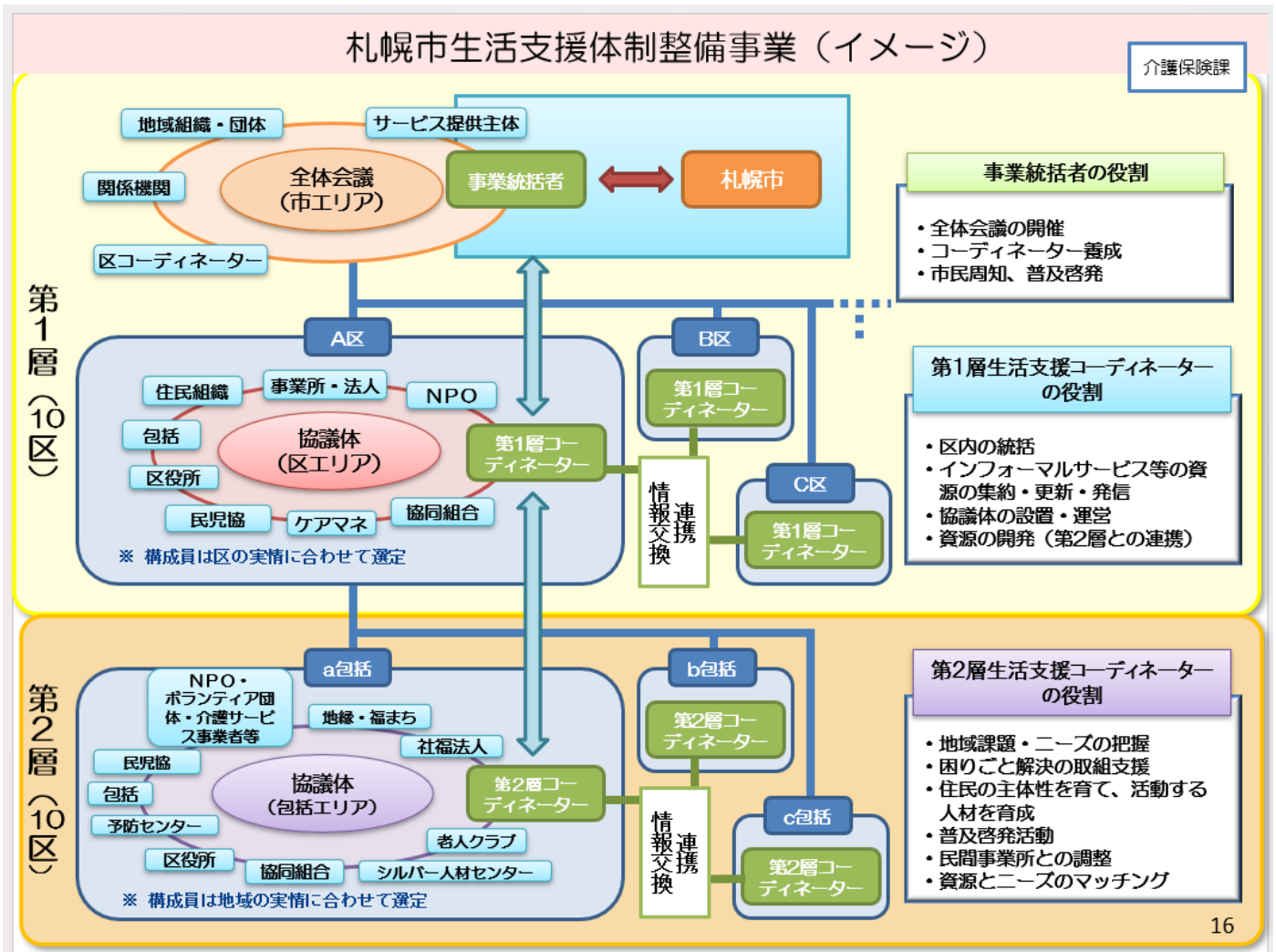
西区第1層・第2層生活支援コーディネーター（R6.3月）

(1) 令和5年度 生活支援推進連絡会（協議体）開催状況

第1層（西区全域）		
令和5年6月26日	令和5年度生活支援体制整備事業の取り組みについて	
令和6年3月18日	令和5年度活動状況報告と令和6年度に向けて	

第2層		
令和5年4月20日	西野地区	西陵高校生徒によるスマホ教室
6月27日	山の手地区	カフェを利用したサロン活動の立ち上げ
6月30日	西野地区	西陵高校生徒によるスマホ教室の振り返り
7月22日	琴似二十四軒地区	移動販売を通じた地域の支え合い
9月7日	西町地区	支え合いボランティアグループの現状と課題
11月22日	八軒地区	子ども食堂から地域の居場所へ
11月28日	西野地区	高校生によるスマホ教室の今後について
12月12日	山の手地区	買い物支援、山の手高校除雪ボランティア活動
令和6年1月28日	発寒北地区	住民の困りごとの共有と憩いの場について
2月1日	発寒地区	生活支援体制整備事業と町内会との連携
3月12日	発寒北地区	憩いの場の活用と地域食堂の立ち上げについて



## (2) 各エリア 活動状況報告

西区第1包括エリア 【八軒地区、琴似二十四軒地区、山の手地区、八軒中央地区】

担当：庄司 美智子

### ◇八軒地区：まわしよみ新聞

(※気になる新聞記事を切り抜き持ち寄り、その話題について発表しみんなで話すワークショップのような取り組み)

- 令和3年10月より居場所、つながりづくりとして八軒地区福祉のまち推進センター主催で2層コーディネーターがサポートするかたちで月一回開催。今年6月に30回を迎える。福まちの活動として継続していくためにサロン登録にむけて申請予定。回を重ねるごとにメンバーの人となりを知り横のつながりが生まれている。
- 3月の回は、参加者4名が敬老パス廃止の記事を取り上げ、スマホポイントへの移行に違和感を感じるという意見があった。2層生活支援コーディネーターとしてニーズとして拾い上げ、声を上げていきたい。
- 今年は2月17日のささえあいフォーラムでまわしよみ新聞を掲示。他の地域での開催も広がるよう周知活動を行った。
- 今後は、参加者から地域課題を提言される機会も多い為コーディネーターがニーズとして集約し発信していきたい。

### ◇山の手地区：サロンやまベエのつどい

- NPO 法人札幌障害者活動支援センターライフが運営するコミュニティカフェ（山の手4条1丁目）で地域の方の集いの場「やまベエのつどい」を開設し一年が経過しようとしている。地域包括支援センターから紹介された方や地域と全くつながりのなかった80代のカフェ利用者が立ち寄りやまベエ体操を覚え毎回楽しみに通っている。
- やまベエ体操の後はコーヒータイムでくつろぎ、みんなで脳トレ体操、連想ゲームや参加者が提案したハロウィンポストカードづくりやクリスマス飾りを作ったり、参加者自らが作成した紙芝居を披露したり、どんなことをやりたいかみんなで話し合いながら決めている。
- 今後は、参加者同士がちょっとした困りごとを解決できるようなつながりをもてる場所を目指して活動をサポートしていきたい。



#### ◇琴似二十四軒地区：移動販売・ラポール二十四軒4号館の取組

- 令和4年10月からマンション ラポール二十四軒2号館前で移動販売とくし丸の運行を開始。毎回10名程の利用があり顔馴染みが増え、買い物だけでなくちょっとしたおしゃべりの場、元気を確認する場となっている。
- 道路を挟んで利用していた3-4号館（高齢者の一人暮らしが多い）の住民の要望もあり協議体を開催し令和5年8月から4号館前でも運行を開始。4号館は町内会がないが、日頃から見守り活動を行っているマンション住民が中心となり場を盛り上げている。脳梗塞後遺症がある方も、ヘルパーが付き添い介助し毎回利用を楽しみにしている。
- 次年度も協議体を開催し、よりささえあいを意識した取り組みになるよう目指したい。



#### ◇山の手地区：山の手高校ラグビー部による除雪活動

- 山の手高校除雪ボランティアの取組は今年度で3回目の取り組み。今年度は1月27日（土）に実施。  
参加者は山の手高校ラグビー部員40名。山の手まちづくりセンター所長、地域包括支援センターから4名の応援あり。
- 山の手高校周辺の福祉除雪利用世帯に声をかけ除雪対象宅を募った。地域包括支援センターからの依頼もあり高校周辺6件、山側に位置する山の手30町内会の2件、移動販売駐車場の除雪を行った。いずれも前日の積雪量が多く生徒達の力が遺憾なく発揮され地域の人達に非常に喜ばれた。また、顧問の黒田先生より「チームが強くなる為にも必要な経験」との大変ありがたいお言葉をいただいた。  
今年のチームは例年より強いチームとのこと。確かに例年より除雪中の連携がスムーズで要領がよかった。また、次年度の課題として除雪場所の選定に課題が残った。



【西野地区】

◇介護予防センター西野との共催スマホ教室

- ・「何度聞いても大丈夫」をコンセプトに6月から9月にかけて第2・第4木曜日に実施。
- ・自分のスマホを使った教室を10月から12月にかけて第1・第3木曜日に実施。  
会場は福祉のまち推進センター事務所。講師は前半ソフトバンク、後半ドコモ。
- ・応用編としてアプリやラインの活用についての教室も実施。  
アプリについては2月15日と2月29日に昭和会館で実施。  
ラインについては3月14日と3月28日に福祉のまち推進センター事務所で開催予定。  
どの教室も応募が多数あり需要の高さを実感。参加者は80代など年代層が高めの傾向が見られる。

◇スマホちょっとお悩み相談in西陵高校ボランティア

- ・6月に初開催した相談会の第2弾として11月9日に開催。  
参加者は相談者9名、生徒18名。
- ・アンケートから

○相談者

今回参加したことで生活の幅が広がったように思う  
知りたかったことがわかり大変勉強になった  
知らなかった機能やおすすめアプリを教えてもらって楽しいひと時を過ごせた

○高校生

地域の方ととても楽しく交流できた  
明るい雰囲気でお悩みを解決できてよかった  
説明するのが思ったより難しかったので、もっとうまく教えられようになりたい



◇お買い物情報マップの更新

- ・昨年度作成したものを情報更新して発行。民児協定例会などで配布。

### ◇福井野中学校生徒による除雪ボランティア

- ・1月11日生徒40名がグループに分かれ支援希望宅7軒で実施。普段自宅では除雪しない生徒たちもみんなで楽しみながらボランティア活動できた様子。支援宅の高齢者からの感謝の言葉に達成感マックスで来年もやるとの声も・・・。



### ◇地区地域ケア会議にむけての平和第2町内会地区資源調査

#### 【西町地区】

#### ◇宮の沢町内会への後方支援

- ・スマイルサロンの継続に向けて介護予防センターと協力して活動。
- ・見晴らし公園での移動販売車とくし丸による買い物支援の利用者は協議体メンバー含めて毎回10名程度。荷物運び支援もしながら交流・見守りの場として順調。
- ・助け合いのグループとして結成された「爺さまの会」は中心メンバーの体調不良等ありながらも地道に活動中。

#### ◇福まちサロン等の訪問による普及啓発とニーズ把握

- ・男和の会や美和の会、スマホ教室を定期的に訪問し、参加者との交流による普及啓発とニーズ把握。

#### ◇宮の沢若者活動センター利用者の高齢者支援活動

- ・スマホ操作など若者が得意な分野での高齢者支援活動について連携模索中。介護予防センター西町の協力を得て、コミュニティカフェふうしゃで関係づくりのため定期的に懇談を実施。

#### 【次年度に向けて】

##### <エリア全体>

- ・生活の質向上のための手段としての高齢者のスマホ活用に向け、引き続き多世代を巻きこんだ活動を展開していく。
- ・地域資源情報をまとめたお役立ち情報手帳を必要としているところへの的確に届ける動きをつくる。
- ・サロンの活動や介護予防センターのすこやかクラブに企業の地域貢献事業（出前講座）を資源としてコーディネートし、活動の活性化を促す。
- ・関係機関と連携し、地域ニーズの掘り起こしを引き続き進める。

##### <西野地区>

- ・障がい者福祉施設による移動支援など、ニーズに呼応した様々な資源の開発を目指す。
- ・西陵高校ボランティア局との活動協力を継続していく。
- ・福井野中学校および西野中学校の除雪ボランティア事業を社協と協力して実施する。

##### <西町地区>

- ・地区地域ケア会議を受けて、西野中立町内会におけるニーズ把握などの活動。
- ・引き続き宮の沢町内会の移動販売や爺さまの会、サロンの支援。
- ・宮の沢若者活動支援センター利用者との関係性の構築。
- ・人材育成のためのボランティア講座の実施。

## 区第3包括エリア 【発寒地区、発寒北地区】

担当：緑川 洋平（※令和5年11月着任）

### 【エリア全体】

- 生活支援コーディネーターの存在や役割の周知を兼ねて地域サロンや老人クラブなどへ足を運び、前任者から引き継いだ地域住民との交流を継続。

### 【発寒地区】

- 地域情報のウェブ発信をテーマに、福まち役員と関係機関と共に協議体を実施。西区社協と第2層コーディネーターが作成した「お役立ち情報手帳」の周知拡大の手段として、まちづくりセンターのウェブサイトでの掲載に繋がった。

### 【発寒北地区】

#### ◇老人ホーム「ほしの里」

施設でのイベントにて高校生のボランティア派遣の支援を行った。当日は地域住民の方々と新しい繋がりが生まれ、協議体開催へのきっかけとなった。



#### ◇憩いの城：協議体の開催（2回）

- レンタルルーム「憩いの城」は老人クラブ「発寒長寿会」の事務局にもなっており、毎月の例会では高齢者から生活に関する様々な困りごとが事務局に寄せられている。地域の困りごとを共有し、地域関係機関との関わりを深める場として1回目の協議体を開催。様々な意見交換が行われ、また協議体をきっかけに老人クラブと関係機関との連携した取り組みも行われた。
- 協議体のなかでは、地域の高齢者と子どもの新しい接点を作る場として子ども食堂（地域食堂）を立ち上げたいという話がでており、地域住民の思いを形にしていくために、老人クラブ、町内会、地域関係機関が集まり、2回目の協議体を開催。前向きな話し合いが進められており、次年度も継続的に協議を進めていく。



## 【今後の活動】

### ＜エリア全体＞

- 支援体制の幅を広げられるよう、これまで繋がりのなかった学校、企業、NPO 等とのネットワーク構築を進める。
- 地域サロン等の活動と企業の地域貢献事業との活動をコーディネートし、地域活動の促進を後押しする。
- 地域関係機関との連携や地域活動のサポートを通じ、困りごとやニーズをより効率的に把握できる体制づくりを目指す。

### ＜発寒地区＞

- 令和4年度に立ち上げたボランティアグループ「ささえ愛はっさむ」の継続方針を模索する。
- 地域住民主体の活動（予定を含む）の動きに注目し、地域との新しい関わりを探る。

### ＜発寒北地区＞

- 子ども食堂（地域食堂）の立ち上げ向け、高齢者への支援と融合する形を目指し今後の活動を継続する。



## 区域の取り組み

### ◇支え合いをひろげる地域づくりフォーラム

令和6年1月29日（月）開催のフォーラムにおいて実践発表。

第2エリアの西陵高校スマホちょこっとお悩み相談会の取り組みについて紹介。

### ◇まちづくりフォーラム みんな de 作ろう！！～ささえあいの場～

- ・令和6年2月17日（土）ちえりあにて開催。
- ・「人と人とのつながりの変化と今の社会における新しいつながり方」をテーマに社会福祉法人愛和福祉会 理事長 林恭裕氏の講話やパネルディスカッションを実施。
- ・会場内には、八軒まわし読み新聞の紹介ブースや明治安田生命による健康チェック、札幌ベルエポック美容専門学校生徒によるハンドマッサージ&ネイルなどの体験ブースを設置しました。



### ◇西区生活支援体制整備事業広報誌「つなぐ」の作成（年4回発行）

生活支援体制整備事業を広く区民に知っていただくため、各エリアの活動報告や地域にある社会資源（人・場所など）を取材し紹介しています。

### ◇暮らしに便利！お役立ち情報手帳

ケアマネージャーへのアンケート調査をもとに、介護保険では対応しきれないちょっとしたお困りごとに応えるサービスの情報を一覧表にまとめました。

要望のあった「薬の困りごと」「ペットの預かり」「生活支援サービス」「除雪」「タクシー」の5項目を掲載。今後は情報の更新やさらなる情報収集に努めます。



暮らしに便利！お役立ち情報手帳

西区社協 HP に掲載中

№	店名	住所	連絡先	サービス
1	ペットショップとんとん札幌店	二丁目4番17号2-20	011-623-6263	一泊2泊 1P 200円 5P 4000円・10P 8000円・13P 4000円 9ヶ月間無料 500円
2	ペットプラザ・ラフリー	道庁本庁4丁目 2-200 札幌南小学校	011-613-1070	一泊2泊 1泊3000円・2泊3000円・3泊3000円
3	ペットの楽屋やさん WONNOWN	南10丁目4丁目2-20	011-852-4126	一泊2泊 一泊2000円・2泊3000円・3泊4000円
4	ラブワンコ 札幌店	道庁本庁5丁目1番1	011-215-0088	一泊2泊 一泊2000円・2泊3000円・3泊4000円
5	ペットランド DCM 舞鶴店分庫	舞鶴南1丁目16-210	011-671-2220	一泊2泊 一泊2000円・2泊3000円・3泊4000円